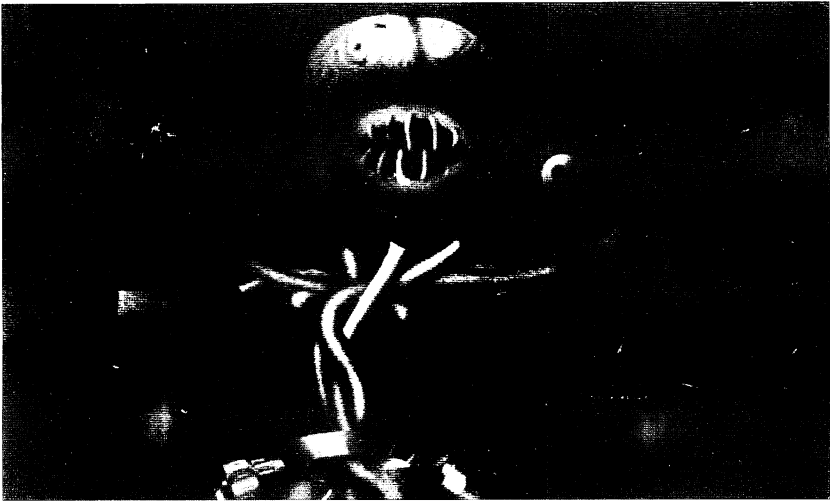
リステリクテッド・エリア
RESTRICTED AREA
立入禁止領域
PC-98VX以降
USER'S MANUAL

ユーザーサポートのご案内

この度は『RESTRICTED AREA ～立入禁止領域』をお買い上げいただきまして、誠に有りがとうございます。製品には万全を期しておりますが、万一ディスクに破損があったり、インストール作動中にトラブルがありましたら巻末の「お問い合わせシート」をコピーして、できるだけ詳しくご記入の上、下記住所までお送り下さい明らかに当方に責がある場合には無償で修理、交換させていただきます。

お客様の不注意による事故や、長期使用による故障等の動作不良の場合は、1,500円（現金書留）ににて有償交換いたします。

ユーザー登録ハガキは必ずご返送下さい。ユーザー登録のない場合はサポートをお断りする場合がございます。

ゲームの攻略法や内容に関するご質問等は原則としてお断りいたします。また勝手ながら、トラブル以外のご質問やご感想当はできるだけ往復はがきまたは封書にてお寄せいただきますようお願い申しあげます。

〒141 東京都品川区西五反田 7-25-9 西五反田ESビル3F
株式会社ケイエスエス　マルチメディア事業部
『RESTRICTED AREA ～立入禁止～』ユーザーサポート係
TEL 03-5702-5615
受付時間：月～金　11:00～17:00(祝祭日を除く)

●このゲームを実行するには、コンベンショナルメモリの空きメモリが530Kbyte以上必要です。

はじめに

この度はミステリアス電脳アドベンチャー「RESTRICTED AREA — 立入禁止領域—」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

このゲームは、パソコン通信やインターネットなどの呼び方で急速な発展を見ているネットワーク空間を舞台として繰り広げられる未体験のアドベンチャーゲームです。

ネットワーク空間のリアルティを実現するために、あなたのハードディスクに実際のネットワークが構築され、あたかもパソコン通信を行なっているかのような現実が展開されていきます。

お金があまりない入学したての高校生があなたです。ようやくの思いで買ってもらったパソコンで、両親がハイテクにうといことをいいことに、ゲームやちょっとエッチなグラフィックで楽しんでいます。

はやりのパソコン通信も、課金をとられない地元の草の根ネットに加入して、深夜のチャットを暇潰しに利用したりしています。そんなあなたが、ある日突然とんでもない“体験”に遭遇し、日本有数の巨大商業ネットに加入せざるをえない破目に陥ります。

遭遇した異常な体験の真相は何だったのか？

巨大ネットワークの深みのなかでもがきながら、多くの人との出会いを通じ、その謎を解き明かしていきます。謎が眼前の現実となったとき、あなたは、大きな決断を迫られることになります。

ミステリアス電脳アドベンチャー
RESTRICTED AREA

—— 立入禁止領域 ——
操作ガイド

—目 次—

1．ハードウエア

[対応機種]

●PC－9801VX以降
（上記機種と完全互換のPC－286以降）

●要ハードディスクドライブ

●要バスマウス

[FM音源]

●ＮＥＣ純正ボード及びサウンドブラスター16

2.ハードディスクへのインストール及び起動の方法

●本ゲームはハードディスク（以下HD）にインストールしてお楽しみいただくようになっております。

●HDへのインストールにつきましては、MS－DOSに関する基本的な知識が必要です。

●HDへの誤ったインストールによるHDの破損などの障害は保証いたしかねますのでご注意ください。

●対応するMS－DOSは、バージョン3.1以降です。それ以外のMS－DOSでの動作は保証致しません。

●インストールの手順

この説明では、例として、インストール先のHDドライブをA、インストール元のフロッピディスクドライブをBとします。また、インストール先のディレクトリをXEROとします。

1．対象のMS−DOSでパソコンを起動します。
2．HDに20MB以上の空き容量があることをご確認ください。
3．本ゲームをインストールしたいドライブを指定します。
（ここでは例として、起動したAドライブとします）
4．次に、インストールするディレクトリを作成します。
（ここでは、そのディレクトリをXEROとします）

●コマンド受付状態であることを確認します。（A>と表示されている状態）

●MD XERO と入力し、最後にリターンキーを押します。
●続いて、CD￥XEROと入力し、最後にリターンキーを押します。

5．続いて、「立入禁止領域スタートアップディスク」をフロッピドライブBにセットしてください。
6．きちんとセットされていることを確認したら、

B：INSTALL B：と入力し、最後にリターンキーを押します。

7．以降、画面の指示に従って、インストールディスク1から9までを順次入れ換えてください。

●FM音源の指定

インストールを完了しましたら、ご使用のFM音源を指定するために、セットアップを実行します。

［操作］ SETUP と入力し、リターンキーを押します。

表示されたFM音源のなかから、ご使用のFM音源を選択します。
このセットアップは、ご使用のFM音源に変更がない限り、再実行する必要はありません。

●ゲームの起動

本ゲームがインストールされているディレクトリをカレントディレクトリにします。
（インストール及びセットアップの直後であれば、そのままの状態です。）

パソコンの起動直後の場合は、コマンド受付状態で、

CD XERO と入力し、最後にリターンキーを押します。

[ゲームの起動] XERO と入力し、最後にリターンキーを押します。
これで、ゲームがスタートします。

インストールを完了しますと、製品添付のフロッピディスクは使用致しませんので、大切に保管してください。

※ MS−DOSは米国マイクロソフト社の登録商標です。

3．ゲームの遊び方

●スタート基本画面

ゲームを起動すると、パソコン通信用のターミナルソフトが表示されます。このターミナルソフトを駆使して、ネットワーク空間をサーフィンします。[ダイヤル] を指定すると、現在ログインできるネットワークが表示されますので、ログインしたいネットワークを選択します。

※最初は、SFネットという草の根ネットだけです。

ゲームの進行で、もう一つ大きな商業ネットINFネットにログインできるようになります。

●ネットワーク内のナビゲーション操作

ログインできるネットには、テキストモードとグラフィックモードがあります。
テキストモードか、グラフィックモードかによって、ネットのなかを渡り歩く操作方法が異なります。

① SFネット：硬派の草の根ネットですから、派手なことは嫌います。望んでも、資金的にできないという実情もありますが…このため、このネットは、テキストモードで運営されています。

② INFネット：大きな商業ネットで、グラフィックモードのサポートも始めました。しかし、グラフィックモードで利用するためには、あるソフトが必要です。早くこのソフトを入手して、快適な操作環境を手に入れましょう。

テキストモードとグラフィックモードそれぞれの基本操作を説明します。
チャット（パソコン通信でのおしゃべり）の操作は、テキストモード・グラフィックとも共通ですので、あとでまとめて説明します。

（1） テキストモード

基本的には現在主流のパソコン通信と同じ感覚で操作します。
チャットを除いて、すべてをキーボードで操作します。
ネットのサービスは、階層的な分岐構造メニューになっていますので、自分が利用したいところにスムーズに移っていく操作を早く覚えてください。

《メニューの選択》

① ログインすると、グリーティング（挨拶）が表示され、続いてトップメニュー（最上位のメニュー）が表示されます。
② そのなかから、利用したいメニューの番号を入力し、リターンキーを押します。
③ あるものは、さらに、その下位にあるメニューの選択画面が表示されますので、同じように行きたいメニューの番号を選択します。
④ メニューの選択画面で“0”を入力すると、一つ上位のメニュー画面に戻ります。間違ったメニュー選択をした場合、この操作で戻って下さい。

※メニュー選択画面で、サービス名を入力すると、ダイレクトに指定のサービスに移動することが出来ます。サービス名は、“MAP”と入力すると一覧が表示されます。“0"の代わりに、サービス名をアルファベットで入力してください。

《アーティクルの参照》

BBSとか電子掲示板とかボードと呼ばれるものには、いろんな人の書き込み（アーティクル）がUPされています。ゲームをスムーズに進めていくためには、ここから得る情報がなにより重要となります。ボードを読むための操作は次の通りです。

① 上記《メニュー選択》で、読みたいボードがあるところまで移動します。
② これまですでに読んだアーティクルの次のアーティクルの表題が表示されます。
(最初であれば、１番目のアーティクル表題が表示され、最後のアーティクルを読んだ状態であれば、新しいUPがない限り、表題は何も表示されません。)
③ 表示されている表題に興味があれば、そのままリターンキーを押すと、内容が表示されます。(“R”リターンの操作でも同じですが、省略したほうが楽ですね)

※どんな書き込みがあるか一覧で確認したい場合は、“L”リターン操作で、表題一覧を表示させ、そのなかから、読みたい表題の番号を入力してください。

④ 表示された内容が長くて、先頭部分が画面から消えた場合は、バックスクロール機能を利用します。
カーソルキーの↑キーで上へスクロールし、↓キーで下へスクロールします。
(スクロールする範囲は100行分です)

⑤ 読む指定をした表題の内容を表示し終ると、続いて、次の番号のアーティクルの表題が表示されます。
それを続けて読みたい場合は、そのままリターンキーを押します。

⑥ 表題に興味がないときは、“+”を入力しリターンキーを押すと、次の表題が表示されます。前の方に読み忘れたアーティクルがあるときは、“-”を入力しリターンキーを押して戻ることができます。

⑦ ある番号のアーティクルにダイレクトに移動したいときは、番号を入力しリターンキーを押します。(“0”リターンキーは、先頭に戻ります。)

⑧ ボードを抜けたいときは、“E”リターンキーと操作すると、すぐ上のメニュー　面に戻ります。以降は、《メニュー選択》の操作方法を参照してて下さい。

※アーティクル参照を途中の番号のまま抜けると、次にアクセスしたとき新しいアーティクルの表題表示になりませんので、抜ける操作は、最後のアーティクルで行なうことをお奨めします。

《メール機能及びアーティクルの書き込み》

電子メールは、実際のパソコン通信でもとても実用的で重宝なサービスです。
このゲームでも、電子メールがあなたの探究を手助けしてくれます。
メールには、相手からの送られてくるものとあなたの送るものとがあります。

〔メール機能〕

① メールの受信（相手からもらったメールを読む）の操作は、《アーティクルの参照》と同じです。

② メールの送信は、“W”を入力しリターンキーを押すと、現在送信できるメールの表題が表示されますので、送信したいメールの番号を入力し、リターンキーを押します。続いて、リターンキーをもう一度押すと、内容が表示され、相手に送信されます。
送ったメールは、受け取ったメールと同じように保存されますので、あとで確認することもできます。

③ メール機能を終了したいときは、“E”リターンと操作します。これで、すぐ上のメニューが表示されます。

※“W”リターンと操作しても、表題リストが表示されないときは、送信するメールが準備されていないことを示します。
“W”は、WRITEの頭文字だと覚えて下さい。

〔書き込み機能〕

メールの送信と同じく、“W”を入力しリターンキーを押すと、現在書き込みできるアーティクル表題が表示されます。
書き込みしたい表題の番号を選択し入力することで、書き込みが行なわれます。

※表題が表示されないときは、書き込みアーティクルが準備されていないときです。

《バイナリー形式のアーティクルやメールのダウンロード》

アーティクルやメールには、プログラムなどテキストで表示できない性格のものがあります。
このようなアーティクルやメールは、ダウンロードして使用します。

対象となる表題が表示されているときに、リターンキーを押し、メッセージが表示されたら、［転送］を指定します。

（2） グラフィックモード

INFネットであるソフトを入手することで、INFネットへログインすると、グラフィックモードに対応するようになります。
このモードでの操作は、マウス中心となります。

《メニューの選択》

グラフィックメニューとボタン式のメニューがあります。
どちらも、マウスでポインティングして、左クリックすることで選択します。
階層的なメニューになっていますので、目的のサービスにたどりつくまで、順次マウスで選択していきます。

《アーティクルの参照》

グラフィックモードでは、アーティクルが一覧で表示されます。
アーティクルの数が多く1頁で収まり切れていない場合は、上部の［次頁］・［前頁］ボタンを左クリックすると、一覧表示が切り換わります。
赤い色で表示されているアーティクルが、それまでに読んだものの次のアーティクルです。
読みたいアーティクルをマウスでポインティングし、左クリックすると、内容が表示されます。
長いアーティクルの場合、内容が表示されている領域で、マウスを左クリックすると、次の頁に進みます。（上部の［次頁］ボタンでも同じ）
前の頁に戻りたいときは、上部の［前頁］ボタンをクリックします。
最後の頁でマウスを左クリックすると、表題の一覧表示に戻ります。

※アーティクル参照を途中の番号のまま抜けると、次にアクセスしたとき新しいアーティクルの表題表示になりませんので、抜ける操作は、最後のアーティクルで行なうことをお奨めします。

《メール機能及びアーティクルの書き込み》

上記《アーティクルの参照》と同じ画面状態で、上部の［書込］ボタンを左クリックすると、送信できるメールや書き込みできるアーティクルの表題が一覧表示されます。
そのなかから、内容を確認したい表題をポインティングすると、内容が表示されます。それを送信したり書き込みしたいときは、一覧表示に戻った時点で、再度［書込］ボタンをクリックします。

書き込みしたものも、他の人のUPやメールと同じように読むことができます。

書き込みの準備ができていないときは、書き込み可能対象の一覧は表示されません。

（3）チャット

パソコン通信でも、見知らぬ人達と肩書抜きでいろいろな話題の話ができるということで人気のサービスです。

このゲームでも、チャットが重要な位置を占めています。積極的にいろんな人とチャットしましょう。

チャットできるところは、SFネットは一つだけですが、大きなINFネットには複数あります。まず、それをちゃんと見つけて下さい。

① チャットできるところに入ると、あなたもしくは既に入室中の誰かが話しはじめます。

② 自分自身も含めある人のチャット内容をきちんと読み終ったら、マウスを左クリックするか、リターンキーを押すと、次のチャットに切り換わります。
(チャットではゲームのヒントになる重要なことが話されますので、内容をちゃんと理解して下さいね)

③ チャット内容の表示で、一部緑色の文字が表示されることがあります。緑色の文字を、キーワードと呼びます。キーワードをマウスでポインティングすると、キーワードに対応したチャットが進行します。
キーワードを含むチャット表示の場合は、キーワード部分もしくは表示枠内でマウスを左クリックしないと、次の画面には変わりません。(リターンキーの場合は変わります)
キーワード部分以外をポインティングして左クリックするか、リターンキーを操作した場合は、キーワード選択画面に切り換わります。
複数のキーワードがある場合は、選択するキーワードをポインティングして左クリックします。キーワードを選択したくないときは、右クリックします。
(キーの操作の場合は、カーソル上下キーで対象キーワードが切り換わります。
赤い色のキーワードが現在対象となっているキーワードです。選択したいキーワードが赤い色になっていることを確認してリターンキーを押します。キーワードを選択したくないときは、ESCキーを押します)
チャット表示中にキーワードがない場合で、このキーワード選択画面が表示されることもあります。

④ チャットを終了すると、自動的に抜けてメニュー選択画面に戻ります。

（4） ツールの使用

ゲームを進めていくと、いくつかのツールを手に入れます。
手に入れたツールは、上部の［道具］ボタンをクリックすると一覧で表示されます。
使用したいツールを選択し、画面のメッセージ表示に応じた操作を行ないます。
ツールはすべてINFネットで使用します。

（5） 所持金

草の根ネットであるSFネットは、通話料だけで課金はされませんが、INFネットは、ログインしている時間に応じて課金されます。
所持金がなくなると、INFネットにはログインできなくなります。
SFネットでなんとかできるかも知れませんが……シビアな制限ではありませんので、あまり気にしないでください。
また、所持金の範囲内で買い物をすることもできますが、その分減額されます。
現在の所持金は［クレジット］で確認できます。

（6） ゲームのセーブ

このゲームは、オートセーブ機能でリアルタイムにセーブされます。
起動すると、前回のセーブ内容から自動的に始まります。

（7） ゲームの終了

ターミナルソフトの［終了］を指示します。

（8） ゲームのリスタート

ゲームに行き詰まって、最初からやり直しをしたいときは、RESTART と入力しリターンを押して、ゲームを起動します。

4．ゲームの進め方

●ネットワークそのものが、ゲーム進行のための情報の宝庫です。
まずは、どんなサービスがあるのか、どんな性格のアーティクルが掲示されているのかを知りましょう。

●友達や協力者をつくろう。
チャットやメールを通じて、友達や協力者をおおぜいつくってください。
貴重な情報やアドバイスを得ることができます。

●草の根ネットであるSFネットへもアクセスしよう。
テキストモードしかサポートされていないネットですが、馴染みの人も多くいるところです。
探究が行き詰まったら、SFネットにアクセスしてみるというのもいい手だと思います。

『RESTRICTED　AREA － 立入禁止領域 －』スタッフ

企画・プロデュース：武田　孝三郎

シナリオ・進行：網代　隆信

キャラクターデザイン：伊藤　大地
武田　孝三郎
田中　宏

グラフィック：伊藤　大地

プログラム：高城　等
矢野　昭司

サウンド：米山　正晃

スペシャルサンクス：

高山　珠路	ぴろ	犬吾
ちゃめ	KAITO	MYAおじさん
微風	ブデゴン	さぬき
ページ・ワン	ブースカ	MASA
みゅ		
岩永　誠享	遠藤　愛	金子　鎮也
桐澤　規子	國司　早苗	久米田　実
小松　真一	佐藤　智志	竹田　章浩
田中　宏	谷口　尚生	戸田　淳一
畠中　俊英	小野　一誠	小山田　英之
萬年　暁弘		

デザインワーク：福島　了

アドヴァタイズ：小澤 弥生

製造：永野 牧子

制作：ケイエスエス

■お問い合わせシート

ご購入年月日：　　　　　　　年　　月　　日
ご購入店名：

（ふりがな）
ご氏名：
ご住所：
お電話番号：　　（　　　）

◇使用機種名
パソコン本体　機種名：
ディスプレイ　機種名：

◇ハードディスクの有無　　□無　　□有
メーカー機種名：

MS－DOS　　バージョン（　　　）：（NEC・EPSON）製

◇その他増設されているハード
ハード名：
メーカー：
機種名：

◇症状（できるだけ詳しくお書き下さい）

※コピーしてお使い下さい。

発売:㈱ケイエスエス
ユーザーサポート係TEL.03-5702-5615
(月~金 11:00~17:00)
販売:㈱日本ソフトシステム マルチメディア事業部
〒142 東京都品川区戸越1-6-7 TEL.03-5702-5411